

第 8 2 回繊維応用技術研究会開催のご案内

研究会会員の皆様

会長 上甲恭平

会員の皆様方におかれましては日頃より当研究会活動へのご協力を頂きありがとうございます。
つきましては、下記の通り、第 82 回研究会を開催します。ご多用のところとは存じますが、ご参加
くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日： 令和 7 年 7 月 24 日（木）

時 間： 10:00～17:10

会 場： ホテルアウィーナ大阪 3F 信貴の間（大阪市天王寺区）

プログラム

（各講師の敬称略）

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～10:40 令和 7 年度 繊維応用技術研究会 総会

「前年度の研究会活動報告ならびに今年度事業案等について」

① 10:40～11:50

東北生活文化大学

伊豆田 友美

演題：ケラチン繊維の酸化染料による染色－酸化染料染着のメカニズム(その 6)－

概要： 等量の酸化染料中間体を用いた二環体酸化染料を生成する主な染着機構は 5 つの素過程から
なり、ケラチン繊維表面で染料中間体が酸化重合反応し、酸化体として繊維内部に浸透・吸着
するとした機構(繊維表面重合説)を提案した。しかし、染料中間体の組み合わせの中には、溶
液中で三環体やそれ以上の多環体染料を生成するものも存在する。今回、三環体酸化染料を生
成するといわれる pPDA(パラフェニレンジアミン)単独染色系および pPDA/RC(レゾルシン)
染色系の新たな染着機構を提案する。

11:50～13:20 お昼休憩

② 13:20～14:30

京都工芸繊維大学

木村 照夫

演題：サーキュラーエコノミーを目指した繊維リサイクルの現状と将来

概要： アパレル産業は世界第 2 位の環境汚染産業であると指摘されている中、資源循環の観点から
環境と経済に配慮した繊維製品の循環システム（サーキュラーエコノミー）の構築が急務
となっている。本講演では繊維廃棄量の実態、企業や自治体の回収の取り組み、繊維リサイ
クル技術の動向、繊維製品のアップサイクルの重要性、わが国や EU における環境配慮設計
への指針・法規制、次世代に向けての様々な取り組みなどについて概説する。

③ 14:30～15:40

梶山女学園大学

上甲 恭平

演題： 染着可能な隙間の形成とその内部環境

概要： 染色基礎講座において、染色現象とは「染料が繊維内部に自然にしみ込む現象」であり、難しく考える必要はないことを説明しました。ただし、染料が自然にしみ込むためには、繊維内部に染料が侵入できる「隙間」が形成されている必要があります。前回の講義では、この「隙間の形成」については詳しく触れませんでした。本講義では、染着可能な隙間が水分や熱の作用によってどのように形成されるのか、さらに、形成された隙間の空間形状やその内部環境が染色条件によってどのように変動するのかについて解説します。

15:40～15:50 休憩

④ 15:50～17:00

神戸大学

辻野 義雄

演題： 新規髪質改善成分の開発

概要： 長寿化が進み、人生 100 年時代を見据えるようになってきた。長寿化社会においては、ただ長生きするだけでなく、「健康で美しく生活したい」という要望が高まっている。加齢における容姿の変化として、髪では「うねり」が発生し、「ハリ」「コシ」を失うことが知られている。これら髪に加齢変化を改善する成分として近年注目を集めているトステアことアミノエチルチオコハク酸（ATS）の開発経緯と作用機序について解説し、その後見出した ATS 以上に高い実効性を持つシステアミン-ムコン酸複合体（CM）について紹介する。

17:00～17:10 閉会挨拶・事務連絡 (17:10 終了)

===== 懇親会 =====

17:30～19:30

※参加費：¥4,000/一名様

講師の先生方をお招きしての懇親会を開催します。できるだけ多くの皆様にご参加をいただき、意見交換ならびに交流を深めていただきたいと考えております。お時間が取れます方は、是非ご参加ください。

～～～ Web によるハイブリッド開催について ～～～

今回も、Zoom を利用したハイブリッド開催といたします。機材やスタッフの制限もございますので、映像はプロジェクターに投影しているスライド画面、音声は講師の PC のマイクからの音声になります。

なお、回線の不具合などにより、画像や音声が乱れる、接続自体が切断されてしまう可能性がございます。場合によっては、ハイブリッド開催について途中で断念する可能性もございますので、ご理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

～～～ 参加費について ～～～

研究会を開催するため、以下の金額を頂いております。

企業会員 ： 1 名様は無料、2 名様以降は 1 名様につき 1000 円

個人会員・その他 ： 1 名様 2000 円

体験参加 ： 1 名様 4000 円

参加費は当日受付にて集めさせていただきます。

参加費については不課税となります。 会員同士が費用を負担しあい研究会を開催するという趣旨から、運営協賛金として扱っています。

Web 配信についても同額ですが、企業会員様の 2 名様以降についても無料とさせていただきます。

参加費のお支払い方法については、別途案内させていただきます。なお、機材の不具合で Web 配信が不能となった場合については料金は頂きません。

～～～ 参加申込方法 ～～～

研究会 Web サイトよりお申込みください。

アドレスはこちら>> <http://appltex.org>

申し込みフォームが利用できない場合、件名を「第 82 回研究会参加申込」として、申込者名・所属・参加者名を「onji@orist.jp」までメールにて送信ください。

- 集計の都合、お申し込みは 7/3（木）までをお願いいたします。
- 申し込み頂いた方につきましては、開催の 10 日前までに、ご参加者名簿を送付させていただきます。

以上

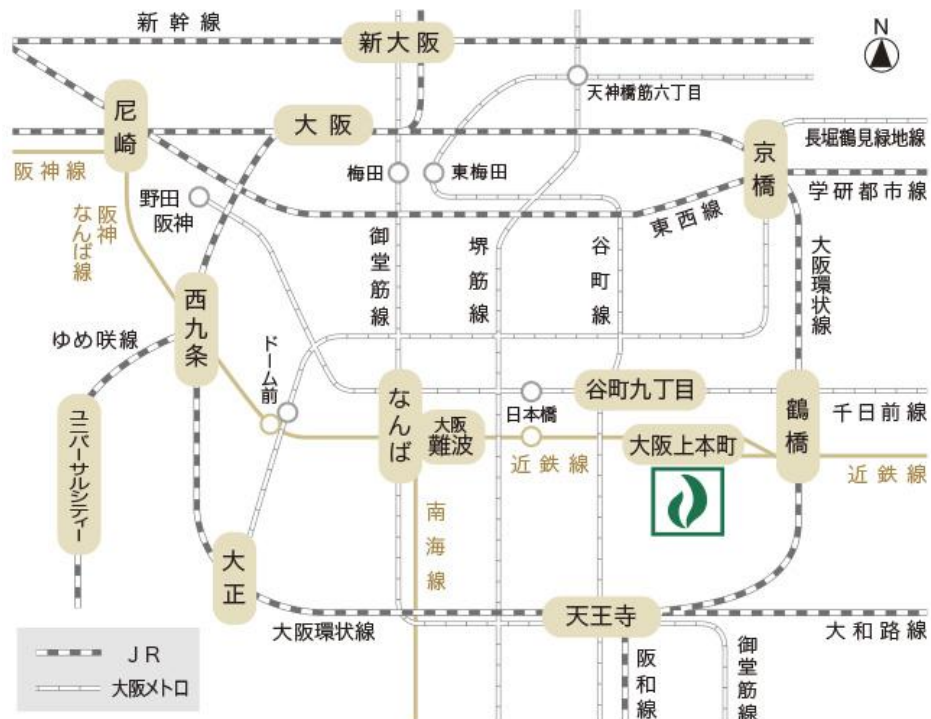
（連絡担当者） 陰地威史 tel.0725-51-2593

e-mail; onji@orist.jp

大阪産業技術研究所 高分子機能材料研究部

〒594-1157 和泉市あゆみ野 2-7-1

《 会場への交通案内図 》



大阪府大阪市天王寺区石ケ辻町19-12

主要ターミナルからの所要時間は、下記 Web サイトにてご確認ください。

<http://www.awina-osaka.com/access/index.html>